

技術セミナー2023-1

参加
無料

【会場案内】 <http://www.aric-ama.co.jp/>

開催日時：2023年9月1日(金) 13:00~16:30

開催場所：尼崎リサーチ・インキュベーションセンター(ARIC)
2階小ホール (尼崎市道意町7丁目1番3)

定員：会場対面参加先着50名 WEB参加制限無し



ひょうごものづくり企業多角化促進・人材育成プロジェクト
金属3Dプリンタを用いた技術力向上事業

産業界で注目されている3Dプリンタは、拡大する要望(用途や材料等)に対応するため、多くの技術や装置が開発・研究されています。今回の技術セミナーでは、AMによる材質・機能性制御の最先端技術、AM実応用の取組、そしてAMの管理技術についての紹介を頂きます。皆様の今後の展開にお役に立てることを願っています。皆様の聴講申し込みをお待ちしています。

対面参加にWEB参加を加えたハイブリッド開催です。

12:30 会場受付開始 12:40 WEB配信開始

プログラム [第一部] 技術講演 <対面+WEB配信>

13:00 開会挨拶 柳谷 彰彦 コンソーシアム副委員長(金属新素材研究センター副センター長・特任教授)

13:05 技術講演 3件 各40分発表・質疑応答5分 座長：柳谷 彰彦

13:05 講演1 小笹 良輔 氏 大阪大学 工学研究科 マテリアル生産科学専攻/大阪大学 異方性カスタム設計・AM研究開発センター、助教
「レーザ積層造形法による金属材料の材質に基づく機能性制御」

本講演ではレーザを熱源とする金属Additive Manufacturing(AM)を取り上げ、レーザが創出する急冷・指向性温度場を駆使した金属材料の材質制御ならびに機能性制御について、当研究グループがこれまでに得た知見をもとに講演する。

14:00 講演2 森下 和幸 氏 福井県工業技術センター、主任研究員
「樹脂製眼鏡フレーム用金型製作への金属AM適用とその効果」

樹脂製眼鏡フレーム用金型製作への金属AM適用は効果がありませんと思われていたが、実際には十分効果があることが分かった。どのように効果があり、残った課題はどのようなものか、説明します。

14:55 講演3 辻 大輔 氏 One Additive Inc., 代表取締役CEO
「日々の造形データを手軽に管理するウェブサービス『One Additive』のご紹介

AM技術(PBF方式)の課題である、日々の造形で発生する原材料粉末の混合履歴やトレーサビリティ、3Dデータの管理を、ユーザ自身が手軽に行える日本発のウェブサービス『One Additive』についてご紹介します。

15:40 閉会挨拶 園田 司 コンソーシアム運営委員((一財)近畿高エネルギー加工技術研究所技術支援部長)

15:45 第一部終了<WEB配信終了>

プログラム [第二部] フリータイム <対面のみ>

15:45 講演者協力によるミニ技術展示・名刺交換・情報交換

16:30 終了(閉場)

17:00 撤収完了

申込方法:皆様全員下記の zoom webinar の URL から登録 申込締切:8月25日(金)

https://zoom.us/webinar/register/WN_cb8TaGOOTMCsGtavOT-xYw

当事業の報告のために、今後、雇用情報を問い合わせさせて頂くことがあります。

お問合せ(電子メールで)

兵庫県立大学 産学連携・研究推進機構 金属新素材研究センター

事務局担当:東間

e-mail:kinzoku@eng.u-hyogo.ac.jp